

平成25年2月1日

周南市長 木村 健一郎 様

熊毛地区地域審議会

会長 酒 井 隆 行



新市建設計画の進捗状況について（答申）

平成23年度11月18日付け周企第258号で諮問のあった「新市建設計画の進捗状況」について、別紙のとおり答申します。

## 答申

### 1. 新市建設計画の進捗状況

熊毛地域における新市建設計画主要ハード事業の進捗状況は、「コアプラザ熊毛整備事業」、「熊毛中央土地区画整理事業」など33事業中10事業がすでに整備済みであり、「高水近隣公園事業」など15事業が実施中である。

これらは地域づくりの核・市民交流の拠点となるとともに、災害時の避難地や救護活動の拠点となる施設が完成したことにより、確実な安心・安全の確保が図られたと考えている。

また、土地区画整理事業を始めとした基盤整備についても順調に整備されている。

さらに、最も住民が希望していた「水道整備」も始まったところである。

一方、未着手、未整備が8事業あり、検討結果は次のとおりである。

#### 高水住宅建替事業について

熊毛地域内市営住宅への入居希望者の競争率が1回につき2から3倍の中、既存住宅の老朽化が進んでいる。当事業に必要な用地も確保されていることから、早急な建替えが望ましいと考える。

#### 大河内近隣公園整備事業について

現在、高水近隣公園が整備中であり、これが完成することにより熊毛地域で未整備地区は大河内のみとなる。このことから、スポーツの振興、健康増進及び防災拠点としての安心・安全の確保の視点から、整備は必要であると考ええる。

#### 総合スポーツ施設整備事業、合併記念公園化事業について

必要性についての住民の意見等は少ない状況にある。

しかしながら、合併のシンボリックな事業でもあり、再度事業の必要性を検討・検証し、事業の整理を含めた何らかの方向性を出すべきであると考ええる。

#### 三丘小学校校舎大規模改修事業について

校舎外壁工事を平成21年に完了、体育館屋根改修、プール塗装を実施するとともに耐震診断の結果により、建替えや大規模改修の必要性は低いが、校舎の適正な維持管理においては、今後も改修工事は必要と考える。

#### 八代小学校校舎・屋体建設事業について

安全確保の観点から耐震改修工事を平成27年度までに実施予定であるが、建替えについては早急に検討が必要であると考ええる。

#### 赤松平仏坂線林道開設工事、仏坂山田線林道開設工事について

現在の木材需要の減少の状況変化と建設時の事業費と維持費を踏まえ、森林の貢献を総合的に判断して検討が必要と考える。

ソフト事業については、子育て支援センター「たんぽぽ」の設置等による子育てサポート事業、「こどもゆめまつり」の開催等による青少年健全育成など多くの事業に取り組み成果を上げられている。震災を契機にさらに安心・安全の確保が求められる中、将来を見据えた安心・安全の確保という観点から、早急に防災教育の充実を図ることが必要と考える。

## 2. 同計画期間終了後の熊毛地区のまちづくりの方向性

新市建設計画の進捗状況について審議会で協議を進めて行き、意見集約を図り次の2つの意見となった。

- ・周南市熊毛地域の国道2号歩道等の整備及び4車線化による安心・安全の確保について
  - ・地域資源を活かしたまちづくりの推進
- 詳細については、別紙のとおりである。

## 新市建設計画における主要ハード事業等の進捗状況

No	区分	事業名	年度	説明
2	完了事業	コアプラザ熊毛整備事業	H20～H21	ゆめプラザ熊毛として、既存施設の改修により公民館・子育て支援センター・熊毛総合支所及び熊毛図書館を新設
18		熊毛中央土地区画整理事業	H2～H21	平成21年度完成、住居表示も実施 14ha
21		八代住宅建替事業	H13～H14	平成14年度完成 6戸
39		鶴見台街区公園整備事業	H14～H16	平成16年度完成 1.1ha
56		八代地区農業集落排水施設整備事業	H14～H19	平成19年度処理場・管渠整備完成
58		図書館システム統合事業	H16	整備済み
62		鶴保護施設整備事業	H15～H21	鶴保護センター(鶴保護ケージ、管理棟等)建設
95		情報教育推進事業	H19～H21	各学校のパソコン教室及び教職員1人1台にパソコンを整備
119		リサイクルプラザ整備事業	H20～H22	平成22年度完成
150		地域情報通信基盤(ケーブルテレビ網)整備事業	H9～H15	整備済
11	実施中事業	国道2号、315号、376号の整備促進	H15～	整備中
13		市道新設・改良事業 (大河内笠野線ほか)	H15～	整備条件が整った路線から実施中
37		高水近隣公園整備事業	H14～H25	平成24年度に一部供用開始予定 3.8ha
43		市内老朽管の計画的更新事業(熊毛)	H20～H28	団地の水道管の老朽管を更新中
45		水道未普及地域への水道施設整備(熊毛)	H23～	水道未普及地域を解消中
49		公共下水道施設整備事業(処理場ほか)	H15～H25	周南流域下水道浄化センターにおいて汚水処理中
50		公共下水道建設事業(汚水管渠)	H15～H25	流域関連公共下水道の整備促進(平成22年度末/下水道普及率89.3%)
54		公共下水道建設補助事業(雨水)	H21	開発に伴う雨水管の整備(藤ヶ台団地)
57		合併処理浄化槽整備推進事業	H22～H26	公共下水道、農業集落排水区域外地域の合併浄化槽整備を支援
63		移動図書館整備事業	H22	「やまびこ号」導入済み、熊毛地区内を巡回
94		熊毛中学校校舎・屋体大規模改修事業	H19～H25	校舎外壁改修工事を平成19年から平成22年の4年間で完了 屋体は平成25年度に改築予定
98		学校給食センター建設事業	H23～H25	大河内小学校校庭に建設予定
114		危険ため池整備事業(熊毛)	H15～	5カ所 平成23年度完了予定
127		耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業(県営)	H20～H27	平成24年度事業実施予定 三丘地区 22.8ha
144	道の駅整備事業	H19～H25	東部道の駅については、西部道の駅設置後に改めて検討	
22	未着手事業	高水住宅建替事業		現在、既存の市営住宅を長寿命化する耐震工事を進めており、当住宅の建替えについては、その後全体のバランスで検討
36		総合スポーツ施設整備事業		今後検討
38		大河内近隣公園整備事業		今後検討
40		合併記念公園化事業		今後検討
85		三丘小学校校舎大規模改修事業		校舎外壁改修工事を平成21年に完了、体育館屋根改修、プール塗装を実施 耐震診断を行い耐震性ありの結果により耐震改修の必要なし
86		八代小学校校舎・屋体建設事業		耐震改修工事を平成27年度までに実施
129		赤松平仏坂線林道開設工事		木材需要の変化や、受益者負担等により未着手
130		仏坂山田線林道開設工事		木材需要の変化や、受益者負担等により未着手



周南市熊毛地域の国道2号  
歩道等の整備及び4車線化による  
安心・安全の確保について



A.M 7:50 周南市呼坂 林石油店前

平成25年2月

熊毛地区地域審議会

## 1.はじめに

本市の国道2号は、臨海工業地帯に沿って発展した東西の市街地を結ぶ大動脈であり、市民の日常生活及び経済活動の幹線として大きな役割を担っています。

熊毛地域の国道2号は、全長約9kmは交通量が多く朝夕の交通混雑が著しいにもかかわらずほとんどが2車線であるとともに、歩道が狭小・危険でありながら多くの児童、生徒が国道に接して登下校しています。

このことから、市民の安全・安心を守り、市民のいのちを守るとともに、「住みたい」まちにするため、歩道等の整備及び全線4車線化を早急を実現することを目的とします。





## 2. 現 状

### (1) 国道2号

国道2号は、熊毛地域東部においては平成14年に「樋口登坂車線工事」が完了し、隣接する岩国市周東町から熊毛地域樋口までの区間について、上下線の片側のみ2車線となっています。

特に、下り車線については登坂車線の設置により、交通渋滞の解消としての役割を果たしていると思われます。

一方、西部は、花岡バイパス全線（下松市）が平成17年から全線供用となっています。

なお、周南市西部では、戸田付近を中心に平成23年9月に4車線化整備がされております。



※1(岩国市側へ向けて)

※2(JR 大河内駅付近から下松市側へ向けて)





## (2) 交通量

「平成22年度道路交通センサス」によると、平日24時間交通量が約23千台であり、周南市西部の27千台と比較しても、決して少なくない交通量となっています。

17年度調査との比較では、約3千台増加しています。

## (3) 通学路

地域内には、小学校5校と中学校1校があり、その内国道2号沿線を通学路としている学校は、勝間、大河内、高水小学校の3小学校及び中学校が該当します。

通学経路の指定については、第一に安全面を配慮して指定されていますが、中学校については、遠距離からの自転車通学の割合も高いことから、生徒数の75%が国道沿線の歩道を通行しています。また、勝間小学校においても、児童数の80%に上る高率となっています。

さらに、県立熊毛北高等学校や隣接する下松市、光市の高校への自転車通学生徒も多くみられています。

国道2号沿線を通学路としている児童・生徒数の状況調査 (平成24年10月1日現在)

学校名	該当者 (a)			全校数 (b)			割合 (%) (a) / (b) × 100
	男	女	合計	男	女	合計	
熊毛中学校	187	148	335	251	194	445	75.3
高水小学校	6	15	21	69	75	144	14.6
勝間小学校	184	175	359	229	221	450	79.8
大河内小学校	1	0	1	79	91	170	0.6

## (4) 通勤路

国勢調査(平成12年度)によると、本地域に住み他地域で従業している人数は5,377人で、内下松市・旧徳山市・旧新南陽市に通う15歳以上の就業者数は3,644人(68%)となっており、そのほとんどが国道2号を利用していると考えられます。

### 3. 課 題

---

多くの児童・生徒が通学路として利用している国道2号の歩道は、全般的に狭小で、転倒防止用のガード等の設置がされていない箇所が多く、道路の片側しか歩道整備がされていない箇所も存しています。

通学時には事故一步手前の「ヒヤリ・ハット」が多発する中で、接触事故も数件発生しており、過去には悲しい事故も発生しています。

このことから、中学校では特に危険な場所・防護柵が無い場所では自転車を押して歩く区間を設けるとともに、登下校時には教員が危険個所において交通立哨を行っております。

このように、指導等で出来る限りの事故防止対策を行っているにもかかわらず、事故が無くならないことから、市民の安全・安心を確保し市民のいのちを守るためには、歩道の整備等により道路の構造を変える以外に方法が無いと言えます。

本地域は、周南工業地域の後背地として数多くの住宅団地が造成され、3,000人を超える就業者が国道2号を利用して通勤しています。

このため、朝夕の混雑により通勤時間が通常の数倍以上かかるなど、24時間交通量が23千台にもかかわらず2車線であることがボトルネックとなっております。

また、生活用品の買い物・通院等にも欠かせないルートとなっており、4車線に整備することにより、交通の利便性に優れた住み良いまちにすることが必要です。

さらに、災害時の観点からは、先の「東日本大震災」(H23.3)など、大規模災害の発生時に備えた物流体制を考えておく必要があります。

地震や風水害等が発生した場合、現在の2車線では大混雑が予測されることから、4車線化により、人・物の移動ルートを確保することは、必要不可欠であるといえます。



A.M 7:50

周南市呼坂  
 (熊毛中通学路)  
 徳山方面

中学校前市道～国道に出た箇所(歩道幅 約1.3m)生徒が多くみられる場所。

歩道が設置してある場合、こういうパターンが一番多い。反対車線側はガードなし。

-4-



P.M 5:00

周南市大江  
 (緑ヶ丘団地入口)  
 岩国方面

JR 岩徳線の踏切近く(右側)。通行者が多いと離合が困難となり危険

-5-



周南市大江  
(緑ヶ丘団地入口)  
徳山方面  
P.M 5:00

反対車線側はガードなし。



勝間駅前付近から  
岩国方面  
P.M 1:00



勝間駅前交差点付近  
P.M 2:00





勝間駅前交差点付近

歩道幅 0.9m

児童が登下校で通る

P.M 2:00



勝間ミコー付近から

遠見方面

道の両端ガードなし

P.M 5:30



周南市遠見



周南市遠見  
岩国方面  
P.M 2:00



周南市遠見  
岩国方面  
歩道が狭く、ガードがない  
P.M 2:00



周南市遠見

#### 4. まとめ

---

本地域において、早期に歩道等の整備及び全線4車線化を実現することは、地域住民の長年の願望であり、市民の安全・安心を守り市民のいのちを守るために、最も重要な課題となっています。

児童・生徒が安全・安心して通学が出来ることを、地域住民全員が最も願っております。

また、「住み良いまち・住みたいまち」にするためには、国道4車線化により通勤・通学、通院や日常生活の買い物等がスムーズに行えることが欠かせません。

さらに、近年の被害が甚大化するような大規模災害に対する人・物の移動ルートの確保は、決して先延ばしできるものではなく、行政が早急に取りかからなくてはならない緊急課題と考えます。

よって、国・県並びに関係機関にあらゆる手段・方法により、強く要望していただき、1日も早く整備されますようお願いするとともに、市民の「安心・安全」を確保するために、市独自の整備も検討していただきますよう、強く要望します。



## 答申書（安心・安全の確保について）付帯意見

答申書について、下記の意見を付して提出する。

1. 4車線化により道幅が広くなった場合、青信号で渡りきれない高齢者等が発生することが懸念される。

よって、

- ・横断時の信号機の青秒数を長くする
- ・弱者用押しボタン箱の設置（青秒数延長）
- ・地下道の設置

等の対応をお願いします。





# 国道2号 通学路危険箇所

(熊毛中学校作成)



2012年11月

周南市立熊毛中学校の国道2号沿い通学路危険箇所（別紙地図対応）

地図① 高野山スズキ前



地図②の1 勝間駅前交差点



地図③ 勝間保育園前



地図②の2 勝間駅前交差点



地図④ 向西会館前



地図⑤ セブンイレブン前





周南市呼坂412-1(2号線沿)  
☎ FAX 91-5350

いいわが家創りのお手伝い  
新築・増改築・リフォーム  
電化リフォームローン取扱店  
山口県知事許可(第191)9362号

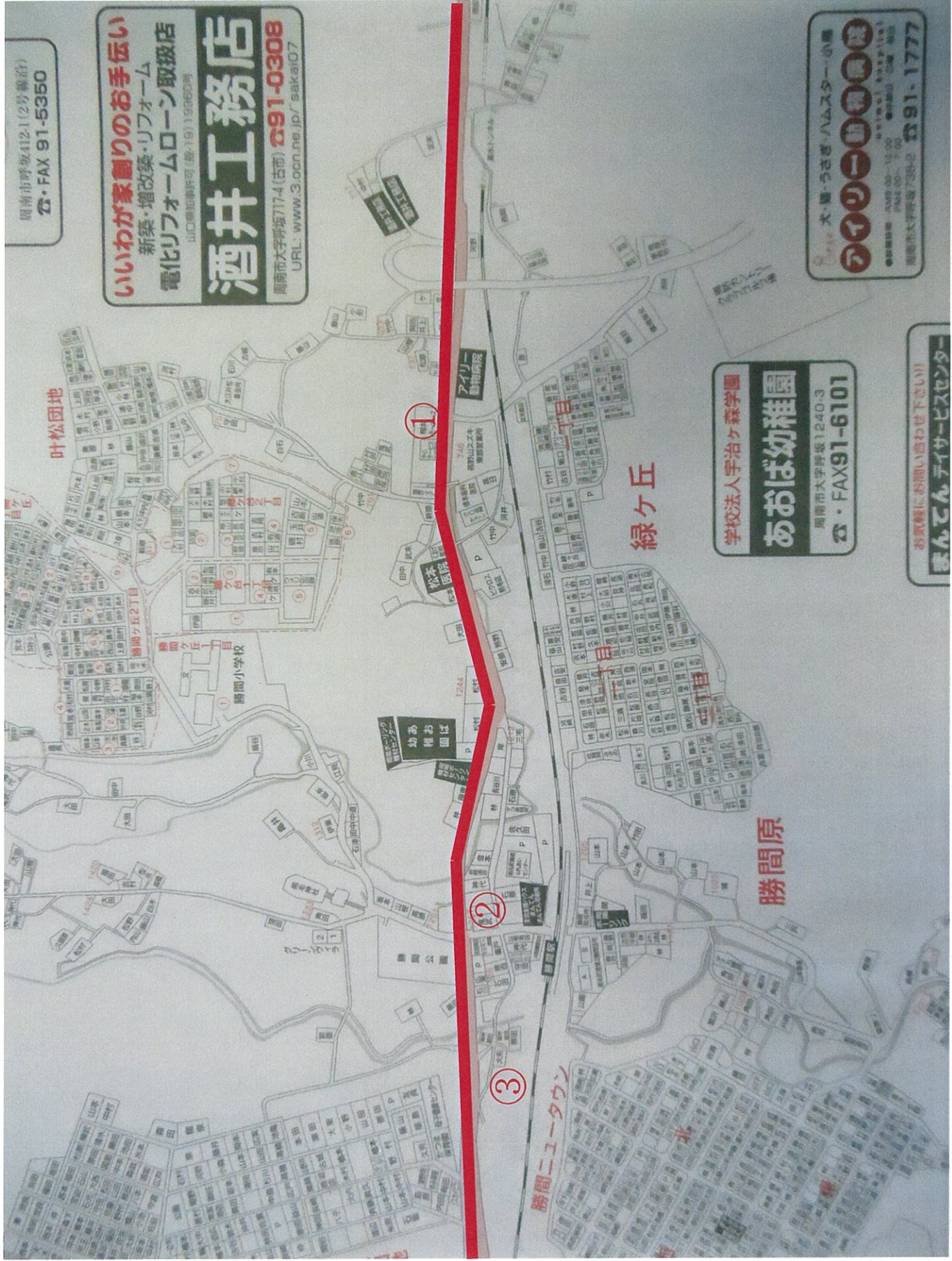
**酒井工務店**

周南市大字呼坂717-4(古市) ☎91-0308  
URL: www.3.ocn.ne.jp/~sakai07

大塚・うさぎ・ハムスター・小鳥  
**アイロー**  
●お電話 083-92-1430 ●お FAX 91-1777  
周南市大字呼坂734-2

学校法人宇治ヶ森学園  
**あおば幼稚園**  
周南市大字呼坂1240-3  
☎ FAX91-6101

お気軽にお問い合わせ下さい!!  
まんでんサービスセンター





町の保守・点検・清掃  
**キワ衛生社**  
玖珂町新町上  
82-2266 概(0827) 82-6555

学校法人 大河内学園  
**大河内幼稚園**  
周南市大河内  
☎91-2854



勝間

勝間

5

4

山陽自動車道

大河内幼稚園



地域資源を活かした  
まちづくりの推進



平成25年2月

熊毛地区地域審議会

## 1. はじめに

熊毛地域は、古来よりツルを愛し自然を愛した地域であり、貴重な自然が豊かに残っています。

このことから、先人たちが守り育んできた、かけがえのない史跡や自然環境をさらに育み、次代に伝えなければならないと考えています。

## 2. 現 状


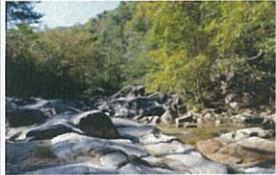
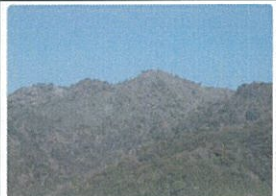
初冬から翌年の早春の間、本州で唯一国の特別天然記念物ナベヅルが渡来するまちとして、全国的に有名です。

また、熊毛八景は当地域を代表する景勝地として市民に親しまれるとともに、多くの観光客で賑わっております。



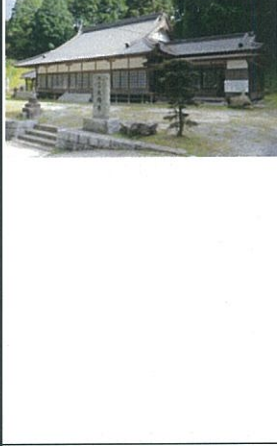


さらに、昔と変わらない自然、培われた歴史や文化がたくさん残っており、「周南市景観計画」に掲げられた景観資源など、貴重で見応えのある素材も豊富に存しています。

しかしながら、放置された竹林はやぶ化が進み、里山の荒廃を招いている箇所も見受けられます。



### 熊毛八景

項 目	内 容	写 真
八代の鶴 ①	本州唯一のナベヅルの渡来地で、10月下旬シベリアから飛来し、八代の人々に温かく迎えられる。翌年3月中旬の好天の日、再び北方を目指して飛び立つ。特別天然記念物に指定。	
黒岩峡 ②	黒い花崗岩質の岩石の清流で、流域は野鳥や自然植生に恵まれ、季節ごとの変化に富み、ハイキングやピクニックを楽しむ人々が多い。石城山県立自然公園に指定。	
烏帽子岳 ③	海拔 697m熊毛地域随一の高山で起伏に富んだ道が整備され森林浴・バードウォッチングに人気がある。頂上からの見晴らしもよく瀬戸内海や四国各地が望見できる。	



<p>高寺観音</p> <p>④</p>	<p>周防国33観音第10番札所で聖観音菩薩像は行基作と伝えられ、除障招福の靈験あらたかな秘仏として20年ごとに本開帳し(中開帳10年)毎月10日縁日供養が行われる。</p>	
<p>貞昌寺</p> <p>⑤</p>	<p>曹洞宗、毛利家一門筆頭宍戸家の菩提寺、宍戸家常陸国の初代宍戸家政より三丘宍戸10代元札までの歴代領主25人の位牌とそれらの子女の位牌64牌が安置されている。</p>	
<p>大陽寺</p> <p>⑥</p>	<p>曹洞宗の名寺で雷の水と七不思議の伝説がある。雷の水とは、雷が寺に落ち寺男となり仕え、天上に帰る時、後ろの岸壁によじ登り、その際爪痕から湧き出した清水。七不思議とは①どんな日照りでも雷の水は絶えない。②山内では雉や山鳥が鳴かない。③心字の池では蛙が鳴かない。④山内ではマムシが人をかまない。⑤門内では蚊が生息しない。⑥大雨でも軒の雨だれが地面を掘らない。⑦心字の池の水は濁らない。赤く濁ったら寺に何か異変が起こる。</p>	
<p>三丘温泉</p> <p>⑦</p>	<p>泉源は島田川の真ん中で発見された硫黄泉ラジウム泉の名湯。昔島田川を往来する川船の船頭が冬季河中に湧出する温泉で暖を取っていたと伝えられる。国民保養温泉地に指定。</p>	
<p>夫婦岩</p> <p>⑧</p>	<p>清尾山の山頂に並び立つ約8mの巨岩で、熊野権現の分霊を勧請した時の影光石といわれ山伏が登山し修行したと伝わる。現在は三光寺裏山より登山道が整備されている。</p>	

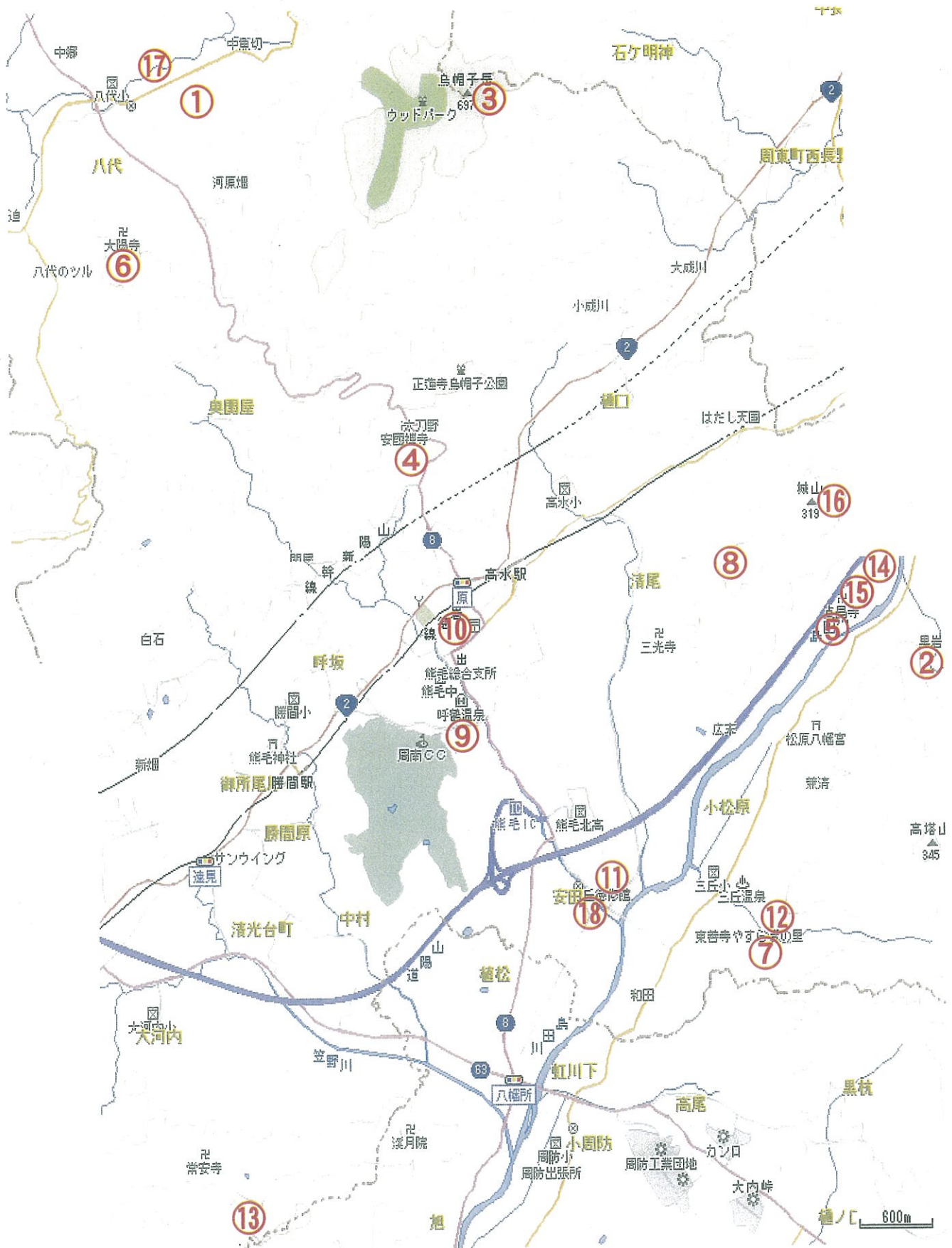
景観資源等

項目	内容	写真
<p>呼鶴温泉</p> <p>⑨</p>	<p>古くから岩の間から温泉が湧き出していた。その泉質は放射能泉に属しラジウム含有量はすばらしくアルカリ性温泉として有名である。</p>	
<p>呼坂宿駅本陣跡</p> <p>⑩</p>	<p>山陽道呼坂宿には参勤交代で、大名・公家・上使などが宿泊・休憩した。現在当時の部屋広大な屋敷図、万日記、お休み札などが保存されている。</p>	



<p>徳修館</p> <p>⑪</p>	<p>1809年三丘領主宍戸就年が領民教育のため創建した学校。その後本堂を建築し孔子外4聖人を祀り聖廟とした。徳修館前の孔子像は中国山東省より贈られた。</p>	
<p>東繕寺川 河川公園</p> <p>⑫</p>	<p>東繕寺川の溪流に設けられた河川公園を中心に、広く他地域の人々との交流を目的に市営施設「東善寺やすらぎの里」がある。春は桜、夏はホタルの乱舞が楽しめる。</p>	
<p>虎ヶ岳</p> <p>⑬</p>	<p>標高414m、常安寺まで車で登れる。山道は整備され約50分で頂上に到着可。頂上からは、上関町皇座山から大分県の姫島など、瀬戸内海国立公園を望見できる。</p>	
<p>広末地区史跡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛利元就齒廟</li> <li>⑭</li> <li>・宍戸家墓地群</li> <li>⑮</li> <li>・三丘城址 (城山)</li> <li>⑯</li> </ul>	<p>筏場橋より約100m、城山の麓に毛利元就・宍戸家・末兼家・毛利元政の墓所が点在する。</p> <p>元就7男元政が父の33周忌に父の齒を埋めて吊い、また母乃美の方の3周忌も同所に供養塔を建てて吊った。</p> <p>1625年宍戸家が三丘領主となって以降、初代から4代までの墓所(19基)、また貞昌寺に5代より10代まで(11基)がある。</p> <p>大内時代に番城として構築され1603年廃城となった。城山の高所に低い石垣が約20ヶ所、切り開かれた平地が約10ヶ所見られる。</p>	  
<p>花笠踊</p> <p>⑰</p>	<p>八代魚切地区に約400年前から伝えられ、大内義孝の追善供養のため、7年毎の8月26日日没前魚切の山の神神社に勢揃いして二所神社に奉納する、県指定無形文化財。</p>	
<p>安田の糸あやつり人形芝居</p> <p>⑱</p>	<p>約200年前、安田の市に集まる阿波の藍染商人により伝えられ、和霊大明神(円通院境内)の夏祭りに奉納された。現在は「三丘三和会」により継承されている、県指定無形文化財。</p>	





### 3. 課題

当地域の、豊かな自然や多くの地域資源を十分に活用し、「行きたい」「住みたい」まちにするためには、次のことが課題となります。

(1) アクセスの改善

「賑わい」「活力」の創設には、アクセスが容易であることが不可欠です。

(2) 積極的な情報発信

豊富な地域資源を知ってもらうことが必要です。

(3) 環境整備

景勝地等の環境整備が必要です。

(4) サイン計画の推進

目的地に容易に到達するためのサイン計画が不可欠です。

また、竹林が放置されると、1年間で本数が10%増加し、竹やぶへと変化することから、次のことが課題となります。

(1) 自然環境の保全

竹の侵入や拡大の防止が必要です。

### 4. まとめ

現在、市ではまちづくりの最重点プロジェクトの1つとして「多様な地域資源活用」により、地域の活性化を目指すとされております。

こうしたことから、本地域においても豊かな資源を活かし、賑わいや交流を創出することにより、「行ってみたい。」「また、行きたい。」「住みたい。」とすることが出来る魅力ある地域とするため、以下のことを要望します。

なお、このことを進めるに当たっては、地域住民も一緒になって「もやい」の精神で目的を達成したいと考えております。

(1) アクセスの改善

国道2号の早期4車線化の促進。

(2) 積極的な情報発信

さまざまなツールによる情報発信及び観光協会と連携した観光客の誘致。

(3) 環境整備

登山道等の整備。

(4) サイン計画の推進

目的地への誘導を図るため、看板等の設置。

(5) 自然環境の保全

竹やぶの全伐と再生竹の除去を行い、自然林への回復の誘導。